

第 9 章

港 湾 課

環日本海時代をめざして
—秋田の海の玄関として—
〈港 湾〉



空から見た秋田港の全貌

第1節 港 湾

1. 事務分掌

区 分	事 務 分 掌	人 員	備 考
総務担当	1. 課内における連絡調整に関すること。 2. 予算・決算に関すること。 3. 給与・旅費・物品・文書に関すること。	4	主席 1 主査 1 主任 2
管理担当	1. 大規模プロジェクトに関すること。 2. 港湾法に関すること。 3. 海岸法に関すること。 4. 公有水面埋立法に関すること。 5. 空港に関すること。	3	主席 1 補佐 1 主査 1
空港担当	1. 空港に関すること。	1	主席 1
港湾担当	1. 港湾の補修、海岸侵食対策等事業に関すること。 2. 港湾の改修、環境整備事業等に関すること。	5	補佐(計 画担当) 1 (兼) 主査 3 主任 1
計画担当	1. 港湾の計画、調査に関すること。 2. 十和田湖の計画調査に関すること。	4	主査 1 主任 1 技師 2

2. 港湾の概要

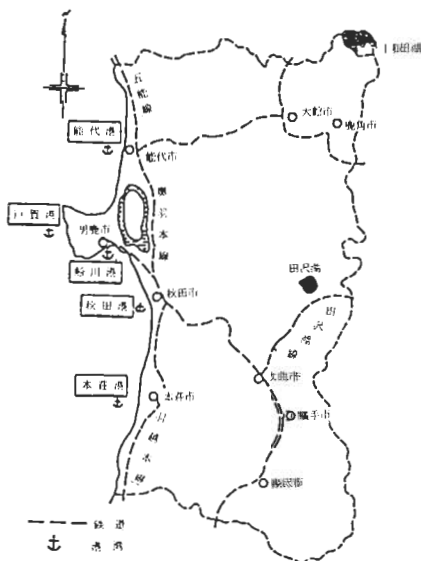
本県には、重要港湾として秋田港、船川港、能代港の3港、地方港湾として本荘港、戸賀港の2港、計5つの港湾があり、県は、港湾管理者として港湾整備や管理運営を行っています。

重要港湾の秋田港は県内の物流の拠点として内貿・外貿の物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備を、船川港は男鹿地域の物流基地及び国家石油備蓄基地としての整備を、さらに能代港は県北地域の物流基地及び能代火力発電所運転開始に対応した整備を進めています。

地方港湾の本荘港は海洋性レクリエーション基地としての機能拡充を、また、戸賀港は避難港としての機能の充実を図る整備を進めています。

近年港湾に対する要請は、高度化・多様化しておりますが、豊かで潤いのある港湾空間の創造のため、各港の特色を生かした港湾の整備を進めていきます。

秋田県港湾図



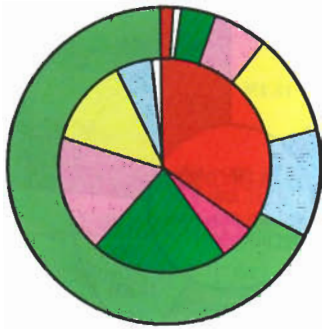
入港船舶および海上出入貨物（平成2年）

（単位：隻・総トン・トン）

		入 港 船 舶		海 上 出 入 貨 物		
		隻 数	総トン数	合 計	出 貨	入 貨
甲 種	秋 田 港	3,441	5,666,017	6,249,666	534,318	5,715,348
	船 川 港	1,141	488,870	846,183	279,344	566,839
	能 代 港	272	308,111	238,301	9,653	228,648
乙 種	本 荘 港	754	4,267	646		646
	戸 賀 港	3,857	57,778	407		407
計		9,465	6,525,043	7,335,203	823,315	6,511,888

入港船舶トン数別比較 (平成 2 年)

県内全港

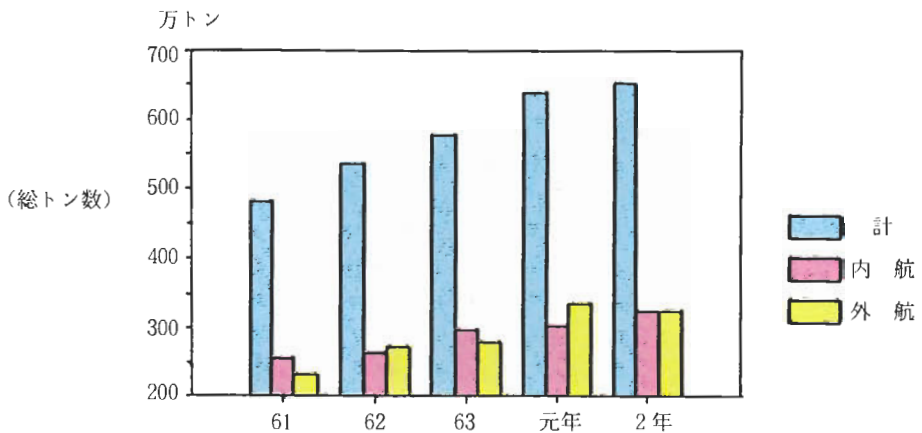
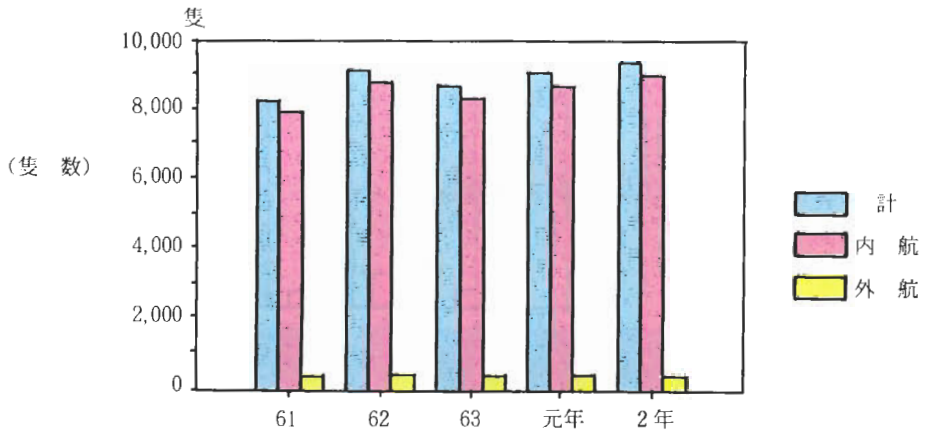


外枠：隻数・内枠：総トン数

	計	隻数	計	総トン数
10,000総トン以上	1.2%	118	34.9%	2,274,585
6,000総トン以上	0.6%	55	5.8%	380,782
3,000総トン以上	3.6%	342	21.5%	1,401,854
1,000総トン以上	5.5%	516	17.6%	1,147,535
500総トン以上	10.5%	996	12.8%	832,269
100総トン以上	10.9%	1,030	5.5%	358,182
5総トン以上	67.7%	6,408	2.0%	129,836
合計	100.0%	9,465	100.0%	6,525,043

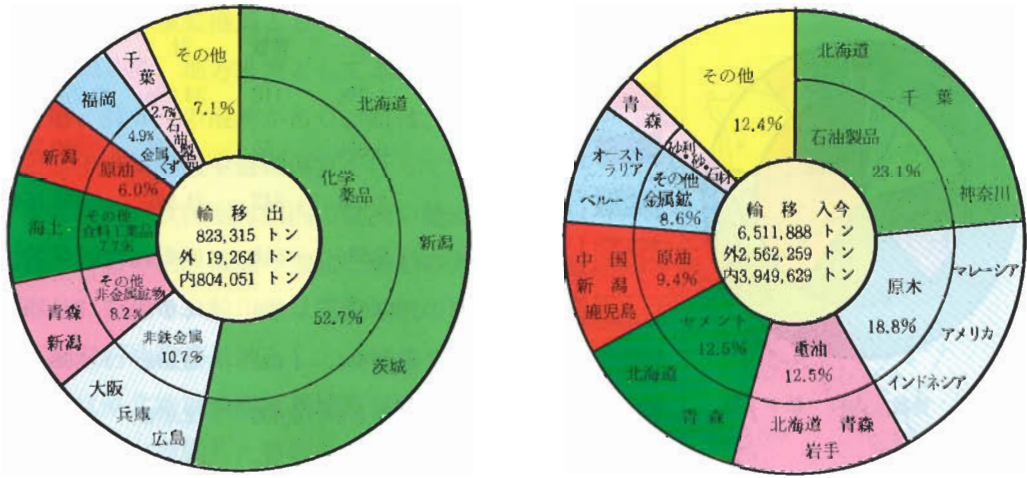
入航船舶のうごき

県内全港



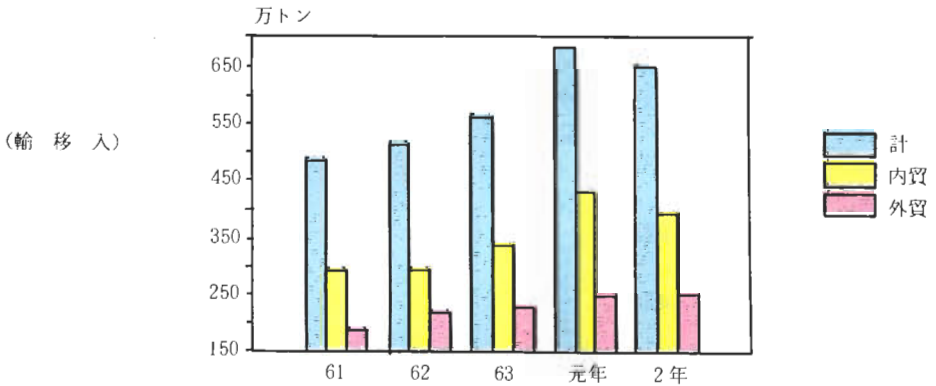
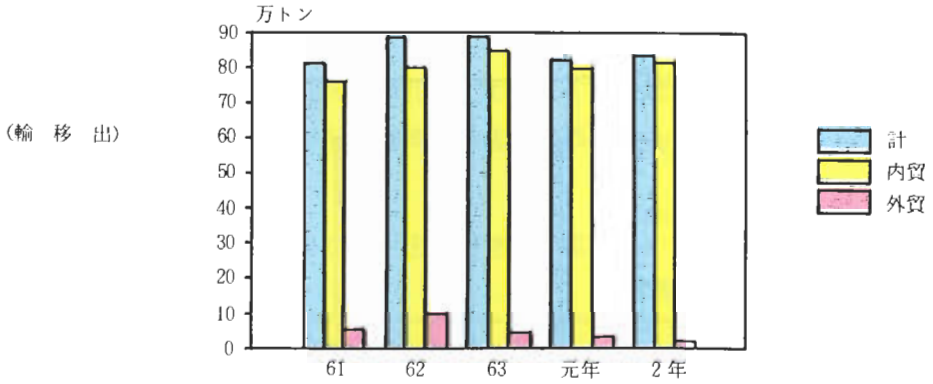
出入貨物品種別比較 (平成2年)

県内全港



海上出入貨物のうごき

県内全港



3. 港湾事業

各港の整備方針と事業計画

[秋田港]

- (1) 県内の物流の拠点として、また、対岸貿易の拠点として物流機能の強化と船舶の大型化に対応した整備を進めます。
- (2) 地元活力を生かした豊かで潤いのある港湾環境の形成を図ります。
- (3) 新たな工業用地及びふ頭用地等の基盤施設の整備を進めます。
- (4) 海洋性レクリエーション基地としてマリーナの整備を進めます。

「平成3年度主要事業」

防波堤 142m、岸壁(-5.0~-11.0m) 213m、航路・泊地(-4.5~-13m)、道路、緑地等の整備を計画しています。

[船川港]

- (1) 男鹿地域の物流基地として、防波堤、泊地、物揚場等の整備を進めます。
- (2) 国家石油備蓄基地として、エネルギー港湾としての整備を進めます。
- (3) マリーナ、緑地等、海洋性レクリエーション基地としての整備を進めます。

「平成3年度主要事業」

防波堤(改良) 63m、泊地(-7.5m)、物揚場 5m、船揚場 132m、緑地等の整備を計画しています。



[能代港]

- (1) 能代火力発電所を擁したエネルギー基地として、防波堤、航路泊地、専用大型ドルフィンの整備を進めます。
- (2) 県北地域の物流基地として、防波堤、大型岸壁の整備を進めます。
- (3) 港湾環境施設として緑地の整備を進めます。

「平成3年度主要事業」

防波堤 15m、防波堤（改良）81m、航路泊地（-13~-14m）、緑地等の整備を計画しています。

[本荘港]



海洋性レクリエーション基地として、マリーナの整備と小型船溜りの整備を進めます。

平成3年度主要事業

防波堤	38m
護岸（防波）	32m
船揚場	6m

[戸賀港]

避難港としての機能充実を図るとともに、地域産業振興の拠点として小型船溜り、防波堤などの整備を進めます。

平成3年度主要事業

防波堤	8m
護岸（防波）	50m
船揚場	36m



4. 海岸事業

運輸省所管の海岸延長は約46.5kmであり、うち26.5kmが、津波、高潮、波浪などの被害から海岸を防護する海岸保全区域に指定されています。

海岸事業では、日本海特有の季節風浪から県土を保全する海岸侵食対策や快適で魅力ある海浜空間を創出する海岸環境整備等の事業を推進します。

海岸環境整備

海浜における日常レクリエーションの需要に対応し、快適で魅力ある施設の整備を進めます。



風光明媚な岩礁地帯の船川港鶴ノ崎地区においては、磯遊び、海岸観察など、訪れる人が憩いの場として利用できるよう階段式護岸、遊歩道の整備を進めます。

能代港落合地区では、快適で良好な海水浴場として、砂浜地確保のため潜堤や離岸堤などの整備を進めます。



海岸侵食

地域住民が海辺とふれあえ、安全で景観に優れた海岸空間の創出を図るため、戸賀港戸賀地区で、「ふるさと海岸整備モデル事業」により、多面的な機能をもった階段式護岸、潜堤等の整備を進めます。

また、秋田港向浜地区、本荘港水林地区、戸賀港浜塩谷地区で海岸汀線の後退を防止するため、離岸堤を整備します。



秋田港向浜地区

5. 主要プロジェクト概要

[秋田港ポートルネッサンス 21 事業]

秋田港の港湾機能を多角的に活用するため、民間事業（第三セクター）を導入しながら、豊かな港湾空間の形成と地域活性化の核としての整備を進めます。

<事業計画の概要>

(1) 事業期間

昭和 63 年度～平成 12 年度

(2) 施設整備計画

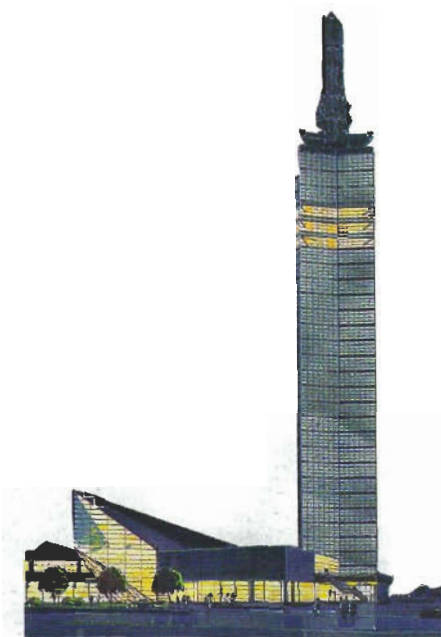
- ・港湾文化交流施設
(ポートタワー、展示施設等)
- ・国際交流施設（見本市、会議場）
- ・港湾業務施設（ポートセンター、港湾機能複合ビル）
- ・アメニティ施設（緑地、臨港屋内公園、多目的広場）
- ・商業施設

(3) 想定事業費 約 280 億円

[能代火力発電所用地整備事業]

国のエネルギー政策に呼応した石炭火力発電所を誘致するために必要な用地 154.9ha（第一区域 105.3ha、第二区域 54ha）を造成するための事業です。

第一区域の埋立用地は既に東北電力に売却し、現在は平成 5 年 7 月の 1 号機の運転開始に向け、第二区域である火力発電運転に伴い生ずる石炭灰の処分場の整備を進めています。



建設計画の概要

- ・位置 能代市字大森山
- ・敷地面積 約 104 万㎡
- ・出力 60 万kW×3
(最終規模)
- ・使用燃料 石炭 重油(助燃料)
- ・所内用水 1日最大1万4千㎡



第2節 空 港

国際化に向けて

—秋田の空の玄関として—

〈秋田空港〉



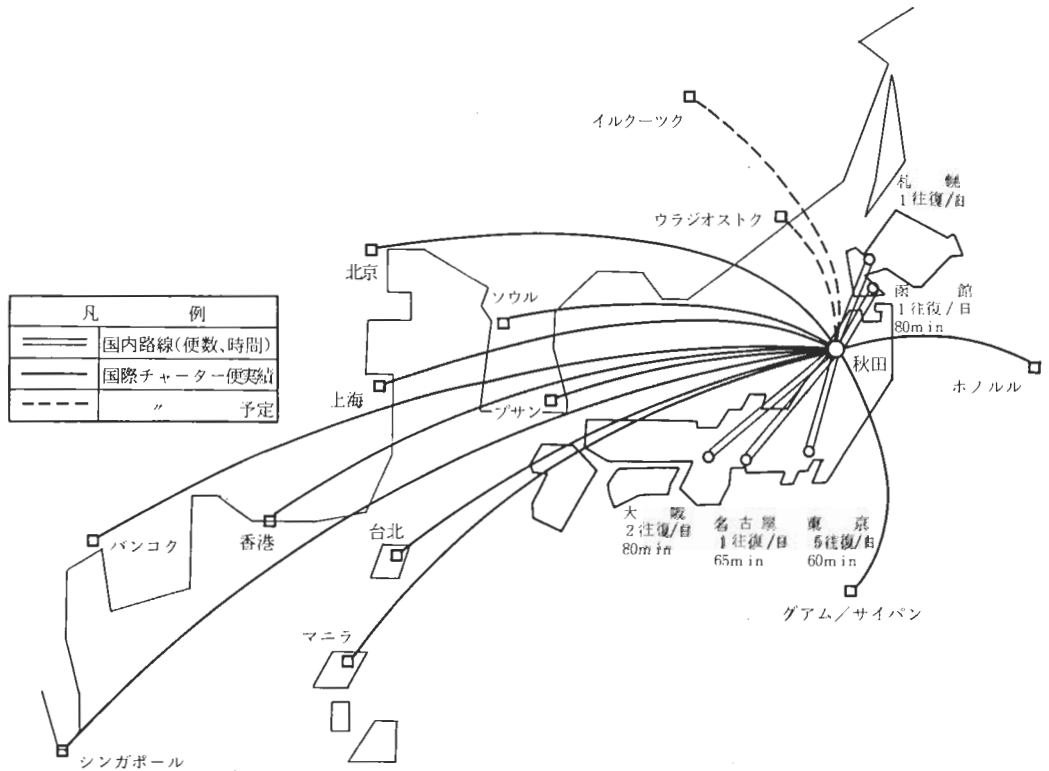
空港の概要

本空港は、県都秋田市の南東 25km に位置し、面積約 160ha、東北地方最大級の長さ 2,500m の滑走路と、計器着陸装置 (ILS) などの新鋭設備を備えている。

空港を取りまく環境は、600ha の広大な県立公園として緑豊かな都市公園型空港となっている。

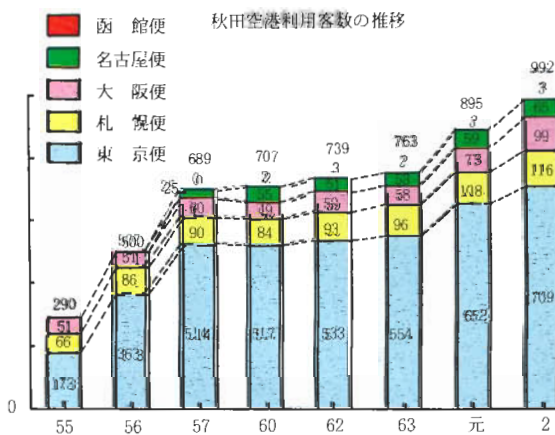
就航路線は、東京、大阪、札幌、名古屋、函館の 5 路線、11 便の往復運航されているが、利用客数も順調に伸び、開港以来延利用客数 750 万人に達し、平成 2 年度には年間 100 万人となり、着実に県民の足として定着し、最近では、国際定期便の乗り入れを目指す動きも活発化している。

○ 国内・国際線航路



空 港 施 設 の 概 要

設 置 者	運輸大臣	場 周 道 路	長/6,455m 巾/5.5m
管 理 者	秋田県知事	駐 車 場	17,800㎡(500台収容)
空港の名称	秋田空港	照 明 施 設	進入灯・滑走路灯・誘導路灯・エプロン灯等
空港の位置	秋田県河辺郡雄和町楯川	無 線 施 設	ILS(計器着陸装置)・VOR/DME
空港の標点	北緯 39° 36' 46"		(超短波全方向性無線標識/距離測定装置)
	東経140° 13' 19"	庁舎官制塔	一式
空港の標高	93.0m	通 信 施 設	一式
空港の種別	第2種B級	気 象 施 設	一式(風向風速・雲高・視程計)
空港の総面積	1,588,900㎡(告示面積)	消 防 施 設	40t水槽8基(化学消防車1台)
着 陸 帯	長/2,620m 巾/300m	除 雪 施 設	除雪機械等一式
滑 走 路	長/2,500m 巾/60m	ターミナルビル	3階建(延床面積/8,555㎡)
誘 導 路	長/2,900m 巾/30m	貨 物 ビル	2棟
エ プ ロ ン	長/240m 巾/190m(4パース)	給 油 施 設	200kl/2基
排 水 施 設	一式		



秋田空港からの国際チャーター便の実績

単位：回

	56-60	61	62	63	元	2	合計
韓 国	3	2		1	4	4	14
中 国	13	3	1	1		1	19
台 湾	4	1			1		6
香 港	16	2	4	6	4	2	34
シンガポール	7					1	8
ハ ワ イ	7	1	1	1	2	2	14
グアム/サイパン	12	1			1		14
そ の 他	6	2	1				9
合 計	68	12	7	9	12	10	118

貨 物 取 扱 実 績

(単位：トン)

		56年	57年	58年	59年	60年	61年	62年	63年	元年	2年
貨 物	国内線	1,063	1,674	2,229	2,383	2,771	2,833	3,255	4,122	3,928	4,706
	国際線										
	計	1,063	1,674	2,229	2,383	2,771	2,833	3,255	4,122	3,928	4,706
郵 便	国内線	210	213	371	864	1,003	1,315	2,068	2,265	2,675	2,706
	計	210	213	371	864	1,003	1,315	2,068	2,265	2,675	2,706
合 計		1,273	1,887	2,600	3,247	3,774	4,148	5,323	6,387	6,603	7,412
指 数		100	148	204	255	296	326	418	502	519	582